日野第一小学校改築事業　第１回ＣＳ委員会共有　要点録

１．開催日時場所ほか

（１）日　　時　令和８年 11 月９日（月）午後 16 時 00 分～午後 17 時 00 分

（２）場　　所　日野第一小学校　図書室

（３）出席委員　岡部委員（保護者)、伊野委員（地域住民)、下田委員（地域住民)、谷委員（地域住民)、山田委員（対象学校の運営に資する活動を行う者)、福嶋委員（学識経験者)、高橋委員（関係機関の職員)、大村委員（関係行政機関の職員)、船山校長、萩原副校長、嶋田主幹教諭、白石主幹教諭

（４）説明者　　日野市教育委員会教育部庶務課　櫻井課長補佐

明豊ファシリティワークス（以下、受託者）　米山、藤咲、浅野（日野第一小学校改築及び南平小学校長寿命化改修に係る基本計画策定支援業務受託者）

２．配布資料　　日野第一小学校改築事業　第１回ＣＳ委員会報告資料

３．要点録

庶務課　　基本計画の現在の進捗状況、意見聴取結果（小学校教員へのアンケート結果）、配置方針・建設ステップの検証結果についてお伝えする。なお設計や工事等の一連の事業を計画的かつ効率的に進めるため、当該事業に係る基本計画を策定することとしている。

（１）事業スケジュールについて

「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画(以下、推進計画)」では工事完了を令和12年度までと設定したが、精査し、現在は令和15年度までと想定している。

（２）事業の概要

日野第一小では、全改築での検討を進めている。現在の校舎規模は約4,536㎡で、オープンスペース(以下、ＯＳ)や体育館を含む新校舎は約8,000～9,000㎡と想定している。学級数は通常学級16から18程度、特別支援学級を含めて24学級分を確保する内容で検討している。

（３）検討の進捗状況

調査と課題整理は完了しプランを検討している。多様な学習形態を考慮した面積の精査に加え、地域開放、避難所運営、環境対策について検討中である。発注方式も並行して検討している。

（４）意見聴取（小学校教職員アンケート結果概要）

今後の学校における教室まわりのプランを検討するため、小学校の教職員を対象にアンケートを行った。学校運営のしやすさの観点から、黒板とホワイトボードの選択、児童用収納の教室内外への配置、ＯＳのあり方等について、質問した。

（５）配置計画、配置方針の考え方について

既存校舎位置で建て替えるＡ案と、仮設校舎を設けずグラウンド側に新校舎を建

てるＢ案を比較している。Ａ案の建設ステップについては、校庭に仮設校舎を建て、児童が引越した後、既存校舎を解体して新校舎と体育館を建設する。完成後に再度引越をしてもらい、既存体育館や仮設校舎を解体して外構を整備する流れを想定している。Ｂ案の建設ステップについては、仮設校舎を設けず、校庭に新校舎を先に建設する。その後、既存校舎を解体して体育館を建設する。現在のＢ案は新体育館が既存校舎にかかっているが、かからない配置も現在検討しており、工程短縮を目指している。２案の配置を比較した結果、教育環境、工期、周辺への影響には大きな差がないと考える。一方で、 Ａ案は仮設校舎を設ける必要があり、多大な追加費用が見込まれるため、市としては現時点で仮設校舎を設けないＢ案を有力案として検討を進めている。

（６）プール施設の方向性

現在の屋外の学校プールは、老朽化が進行していること、天候により水泳授業ができない日が増えていること、教職員による水質管理負担が大きいこと等の課題があり、現状維持も難しくなってきている。この課題も踏まえ、日野一小において、プールは、新たに設けない方向で考えている。その理由としては、気温上昇により将来的に屋外プールの運営が困難になると見込まれるが、屋内プールの整備費は非常に高く、新たに設置していくことは財政上難しいためである。

委員　　使い勝手については、先生の意見を重視して欲しい。また、子供の安全を優先に検討を進めてほしい。相当額の整備費となるとのことだが、下げることはできないのか。

庶務課　周辺自治体の事例も参考に検証したところ、整備費のさらなる削減は難しいと考えている。ここ数年で整備費は大幅に上昇している。面積が整備費へ影響するため、必要面積を精査しているが、必要諸室を確保するには約8,000～9,000㎡が必要であり、それ以上の建物規模の縮小は難しいと考えている。

受託者　近年の整備費上昇は、労働時間規制、労働者数の減少、資材の高騰によるものである。今後もこれらの要因が解消される見通しは立ちにくいため、整備費はこれまで以上にかかると思われる。

委員　　ＯＳ（オープンスペース）を見たことがあるが、開放感がある一方で、落ち着きがなくなって学習に集中できなくならないような対策も必要だと感じた。

庶務課　教職員アンケート回答でも約４割の先生が閉鎖型がよいと回答していた。一方で、学年集会等で柔軟に活用が出来る点は評価されている。学習環境への懸念に対しては、クールダウンスペースを設ける計画を検討している。設計段階では、先生にも計画案を見ていただき、意見を聞くこともしていきたい。

委員　　多目的室は、どの程度確保する予定か教えてほしい。

庶務課　多目的室を複数確保することは難しいため、特別教室を柔軟に活用できるよう検討している。

委員　　Ｂ案では、学童が外部に仮移転となっているが、移転先を教えてほしい。また、最終的に学童はどこに計画されるのかを教えてほしい。

庶務課　工事中に一部撤去する学童分については、例えば生活保健センターへ引越しても

らうことができないか検討している。改築後は、学童クラブは新校舎内に配置する。

委員　　工事期間中は校庭が狭くなるが、運動会等の行事はどのようになるかを教えてほしい。

校長　　周辺の学校の校庭を借りる等を検討する必要がある。

委員　　自然園は、無くなってしまうのかを教えてほしい。

庶務課　現在の自然園は撤去せざるを得ないと考えている。改築後については、今後の検討となるが、どこかには確保したいと考えている。児童にもアンケートをし、ニーズ等を把握し反映していきたいと考えている。

委員　　改築による周辺への日影の影響が分かるよう、次回は日影図を提供してほしい。比較検討を経てＢ案で具体的な検討を進めるようであるが、長期にわたり使用する建物であるため、両案とも慎重に検討してほしい。案は、いつまでに決定を予定しているか教えてほしい。

庶務課　日影の影響について、Ａ案Ｂ案ともに周辺への影響は確認しており、Ｂ案のほうが若干影響は少ない状況である。日影図は次回に提示する。計画検討および事業費の精査を引き続き行い、計画についてはR８年度内に決める予定である。

委員　　他の公共施設との複合の有無を教えてほしい。

庶務課　他の公共施設との複合は学童クラブを除き、予定していない。

委員　　地域住民や保護者への改築内容の説明は、いつ頃を予定しているか教えてほしい。

庶務課　基本計画段階で児童や保護者等にアンケートを実施し、意見を聞きたいと考えている。説明会を行うか等、開催時期も含め検討中である。

委員　　保育園が小学校の校庭と隣接しているため、現在は園児と児童の自然発生的な交流があるが、Ｂ案の配置の場合、それが難しくなってしまうと感じた。Ｂ案のように配置が変わる場合でも、こうした交流の機会が失われないような計画ができることが望ましいと考える。

庶務課　園児と児童の自然発生的な交流が現在あること承知した。Ｂ案となった場合に現時点でどのように確保できるかお答えはできないが、設計段階で配慮できるように検討していきたい。

委員　　敷地南東部が空くようであれば、北西の消防団の敷地が狭小であるため、移転させることも一案として考えられるのではないか。

庶務課　北西の学校敷地の一部を消防団敷地として拡張できないか、庁内で検討中である。

委員　　改築計画の内容やプール施設を更新しないことは、保護者等へどの時期に伝達する予定か教えてほしい。

庶務課　基本計画を策定している段階で、アンケートや説明会等にて、保護者等へ提示し意見を聞きたいと考えている。

委員　　紙面だけではイメージがつかみにくいため、今後、模型等により計画を確認することは可能か教えてほしい。

庶務課　設計段階で模型も含めてお伝えできるか、検討したい。

委員　　今後の会議は、結果を市側から報告するだけでなく、関係者が意見を述べること

ができる説明の場として欲しい。

庶務課　基本計画を策定している段階で、保護者や児童にアンケートや説明会を行うかどうかを検討している。ご意見は、早目にいただきたいと考えている。いただいた声をすべて反映できるわけではないが、設計段階での検討事項とすることも含め、対応していきたい。

委員　日陰、砂埃などの周辺環境への配慮を慎重にし、校庭の日当たりも大切にしてほしいと思う。

庶務課　A案B案ともに、周辺の日当たりや校庭の日当たりには支障ないと考えている。一方で、豪雨時等に校庭の水だまりができること、砂埃が舞うことは課題と認識しているので、砂埃や水はけにも留意して校庭整備の検討を進めたいと考えている。

以上